

平成 28 年度 第 5 回小松市総合教育会議

日時 平成 29 年 3 月 9 日 (木)

午後 4 時～5 時

場所 小松市役所 3 階 3B 応接室

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 討議事項

○平成 29 年度小松市の教育プラン

○松東地区小学校統合後の新しい学校のあり方

4 その他

5 閉 会

平成29年度 小松市の教育プラン

～9年間を見通した一貫性のある教育を～

学習指導要領改訂に向けて

社会の変化を見据えて

- ・主体的・対話的で深い学び
- ・カリキュラムマネジメント
- ・道徳の教科化
- ・小学校の英語科
- ・プログラミング教育
- ・英語の学力調査のスタート

- ・公立小松大学開校へ
- ・サイエンスヒルズ
- ・日本遺産「珠玉と歩む物語」
- ・松東地区小学校統合へ
- ・2018年問題
- ・大学入試改革

大切にしたい4つの柱

- ①学力の向上
- ②生徒指導体制の充実
- ③青少年の規範意識の育成
- ④コミュニケーション力の育成

②生徒指導体制の充実

- ・主体的な児童生徒活動の推進
- ・中学生サミットの充実
- ・道徳教材の開発
- ・チーム学校の推進
- ・いじめ・不登校対策の充実

①学力の向上

- ・わかる授業プロジェクトの推進
- ・授業カススキルアップ事業の充実
- ・こまつチャレンジスクールの実施
- ・小松市独自の教材の開発
- ・サイエンスヒルズの活用

③青少年の規範意識の育成

- ・スマイルハート表彰・健全育成大会
- ・小学生・中学生による勧進帳上演
- ・放課後児童クラブの質の向上
- ・ボランティア活動の推進
- ・ふるさと学習の充実

④コミュニケーション力の育成

- ・学びのアウトプットの設定
- ・発表の機会の設定・参加の推進
- ・ALTの増員, ETルームの拡充
- ・グローバルゼミナールの開催
- ・市立高校活性化プランの充実

学校運営・環境の改善: ①人材の育成(若手・管理職) ②小・中・高・大学の連携
③学校評価の改善 ④部活動の改革 ⑤教育環境の整備

ふるさとと
世界を担う
意欲のある
子どもに

松東地区の新たな学校プラン

世界に羽ばたく
グローバルな人に

～ローカルを大切に
グローバルに活躍する～

ふるさとを愛する心

- ・地域の人を思う心
- ・豊かな自然を愛する心
- ・地域の人から学ぶ知恵
- ・伝統や芸術を愛する心

大事なことを見極める力

- ・生きて働く確かな学力
- ・進んで学ぶ本物の意欲
- ・主体的・積極的な態度
- ・未知の状況への対応力

世界の中で生きる力

- ・コミュニケーションをとる力
- ・ディスカッションできる力
- ・ICTを使いこなす力
- ・多様性に対応する力

- ふるさとを学ぶ教科の創設
- 小中一体となった部活動
 - ・地域の人と共に学ぶ道徳
 - ・地域でのボランティア活動
 - ・地元の幸を生かした給食

- 連続性のある小中一貫の教育課程
- 専門性の高い教師による授業
 - ・自らが考えて学ぶアクティブラーニング
 - ・論理性を育てるプログラミング学習
 - ・主体的で深い学びの理科教育

- スピーキング・リスニングを重視した英語教育
- 新しい教科コミュニケーション科の創設
 - ・市立高校・公立大学と連携したグローバル教育
 - ・ICT化に対応する1人1台のタブレット端末
 - ・ICTを活用して世界と交流する国際交流クラブ

ふるさとと世界を結ぶ教育、小中一貫教育・義務教育学校だからできる教育を

4校の歴史と伝統を生かして

- スキー教室
- ミズバショウ
- 緑の少年団
- 尚古館
- 特別支援学校との交流
- あいさつ運動
- スクールキャンプ
- 広域通学
- 西尾っ子鳶
- サケの放流
- 龍神太鼓
- 紙漉き卒業証書
- 睦習館での宿泊体験
- ALT
- ETルーム

平成29年7月までに 校名の決定, 10月 校歌・校章の決定
12月までに 教育課程・学校行事の決定
平成30年4月 3つの小学校の統合 (小中一貫教育のスタート)
平成33年4月 義務教育学校のスタート (小・中が一つになって)

H29	H30	H31	H32	H33
3校統合準備 (校名・校歌・校章の決定, 教育課程の編成)	新小学校 (仮校舎: 波佐谷小) 校名・校歌・校章			継続
	松東中学校			
	小中一貫教育			義務教育学校

スムーズな移行

義務教育学校って？

9年間を通した教育目標のもと小中一貫教育を行う学校です
1人の校長のもと一つの組織で学校を運営します
小中一貫教育の軸となる学校独自の教科を創設できます
小・中それぞれの先生が得意な授業を担当できます

たくさんのメリットがあります

- ・中1ギャップが解消でき、不登校をなくせます
- ・教師の専門性を生かした授業で学力を伸ばせます
- ・地域に一つの学校なので、地域と一体になった教育ができます
- ・小学校高学年から部活動に参加して体力と競技力を伸ばせます